

しろいし蔵王高原マラソン大会を振り返って

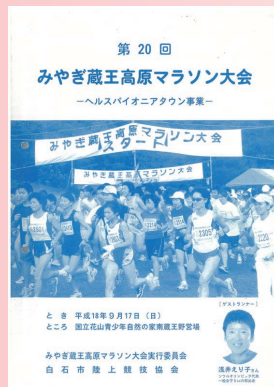
第40回を迎える本大会。長い歴史の中でどのような大会だったのか、第1回・第10回・第20回・第30回の大会パンフレットの表紙を掲載して振り返るとともに、第1回から第39回まで連続出場している方に本大会の思い出や想いを伺いました。

第30回大会 (平成28年)



1996年アトランタ五輪銅メダリストの千葉真子さんがゲストランナーとして参加。

第20回大会 (平成18年)



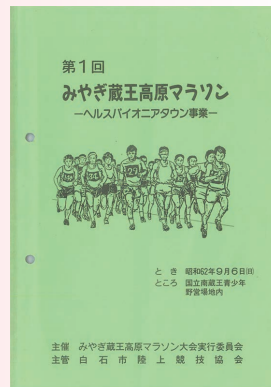
1988年ソウル五輪日本代表の浅井えりさんがゲストランナーとして参加。

第10回大会 (平成8年)



当時の浅野史郎宮城県知事がゲストランナーとして参加。

第1回大会 (昭和62年)



健康づくりとして国から指定を受けてスタート！

第40回記念 大会ゲストランナー



陸上インフルエンサー
しむら みき
志村 美希 さん

PROFILE

東京出身。日本体育大学卒。陸上800mで全国大会に多数出場・入賞。現在はモデルやタレントとして活躍し、SNS総フォロワー数は80万人超。フルマラソン自己ベストは2時間47分45秒。

MESSAGE

今回、しろいし蔵王高原マラソンにゲストとして参加させていただき志村美希です。雄大な蔵王の麓に広がる高原の景色と、澄んだ空気の中を走れることを今からワクワクしています！

アップダウンが激しく「きついコース」と聞いているので、皆さんの声援を力に変えて当日は自分のペースで最後まで頑張りたいです。初めての方もベテランの方も、それぞれの目標に向かって最高の一日を一緒に楽しみましょう！

当日お会いできるのを楽しみにしています！



40年連続出場者へ インタビュー！



つがわ みつまさ
津川 光政 さん
(緑が丘)

30歳で参加した松島ハーフマラソンが人生で初めての大会でした。

34歳で仙台市から白石市に引っ越してきた年に開催された、第1回大会に参加したことがきっかけで毎年出場するようになり、40代では20キロの部、50代では5キロの部を連覇しました。

近年は膝の痛みや病気と戦っていますが、それでも毎日10キロを目標に無理のないペースでランニングを続けています。しろいし蔵王高原マラソン大会ではほかのランナーと走るとはとても刺激になるので、記念大会の今回は20キロの部にエントリーしてゴールを目指したいと思います。

40年続くこの大会の連続出場記録を更新していけるよう、これからも健康に気をつけて人生を走り続けていきます。



第40回しろいし蔵王 高原マラソン大会



スポーツ振興くじ助成事業



9月13日(日)開催・出場者募集中！

◎大会に関すること しろいし蔵王高原マラソン大会実行委員会事務局
(生涯学習課内) ☎22-1343

エントリーに関すること エントリーセンター

☎048-778-5880 (平日10:00～17:00)

驚異の高低差!! 全国屈指のアップダウン!!



●種目・参加対象

- ① 3km：小学生男女・中学生女子・親子ペア
- ② 5km：中学生男子・高校生男女・一般男女
- ③ 10km・20km：高校生男女・一般男女
- ④ ジョギング（3km）：小学生以上
- ⑤ ウォーキング（5km）：小学生以上

●参加料

小中学生	1,500円
高校生	2,000円
一般	4,500円
親子ペア	5,000円
ジョギング	3,000円
ウォーキング	3,000円

●申込方法

インターネットサイト「ランネット」から申し込みを受け付けています。次の二次元コードから申し込みください。



▲ランネット

●申込期限

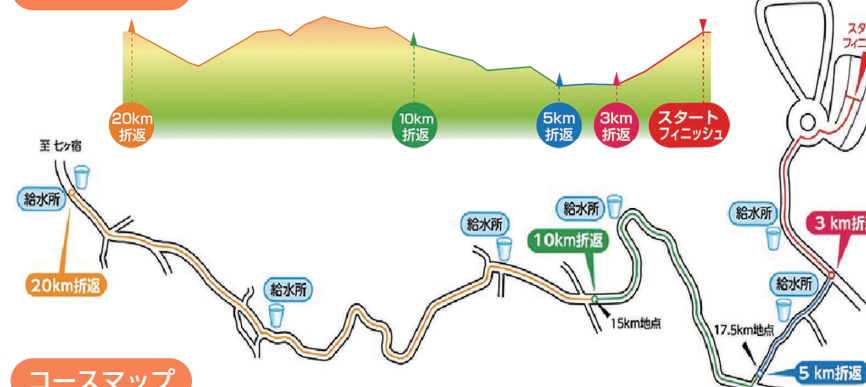
7月5日(日)

※大会当日は交通規制を実施します。詳しくは大会ホームページをご覧ください。

大会ホームページ▶



コース高低図



コースマップ